令和６年度　道徳教育全体計画

校訓　『貫く』

○日本国憲法
○教育基本法
○学校教育法
○学習指導要領
○県・五島市の
　の教育方針

学　校　教　育　目　標

「みがく　かがやく　本小っ子」

○社会の要請
○教師・保護者の願い
○学校・地域社会の実態
○児童の実態

め　ざ　す　児　童　像

【好奇心】　自ら考え判断し，行動する子
【回復力】　自分の可能性を信じ，ねばり強くやりぬく子
【関係づくり】たがいによりそい，助け合い，支え合う子

道　徳　教　育　目　標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため，道徳的諸価値についての理解を基に，自己を見つめ，物事を多面的・多角的に考え，自己の生き方についての考えを深める学習を通して，道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度を育てる。

道　徳　教　育　の　重　点　目　標

○　約束やきまりを守り，基本的なマナーやモラルを考えながら，自ら判断して正しいことを行う子どもを育てる。
○　生命を大切にし，真心と思いやりの心を持って人と接する子どもを育てる。
○　目標に向かって粘り強く取り組み，自他にとって役に立つことをしようとする子どもを育てる。

家庭・地域との連携
○道徳教育の理解と啓蒙
○家庭の教育力の向上
○地域行事への参加協力
○保育園・中学校・施設との連携

学　年　の　道　徳　重　点　目　標

第１学年・第２学年	第３学年・第４学年	第５学年・第６学年
○約束やきまりの大切さを知り，それを守るとともに，善悪を判断し，進んでよい行いをする。 ○生命の大切さを自覚するとともに，相手のことを考え優しく接する。 ○自分がやらなければならない勉強や仕事をしっかりと行う。	○集団生活の向上のために約束やきまりがあることを理解し，それを守るとともに，正しいと判断したことを自信を持って行う。 ○生命あるものすべてを大切にするとともに相手に親切な行動を進んで行う。 ○自分でやろうと決めたことは，粘り強くやり遂げるようにするとともに，集団生活の向上になることを進んで行う。	○お互いの権利を尊重し合いながらきまりやマナーを守って行動するとともに，自律的で責任のある行動をする。 ○生命がかけがえのないものであることを理解して自他の生命を尊重するとともに相手のためになる言動をする。 ○自分を向上させるためにより高い目標を立てて困難にもくじけず努力するとともに，公共のためになる奉仕活動を進んで行う。

【各教科】

〈国語〉　国語を尊重し，理解や表現することで，人に伝え合う力や我が国と文化を尊重する態度を育てる。

〈社会〉　地域や我が国の国土，歴史，文化への理解を通して，我が国と郷土を愛する心を育て，集団や社会の一員としての自覚を高める。

〈算数〉　見通しをもち，筋道を立てて考えることを通して，道徳的な判断力を育て，生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

〈理科〉　体験活動を通して，生命や自然を大切にしようとする態度を育て，科学的な思考により，道徳的な判断力や真理を大切にする態度を育てる。

〈生活〉　身近な人々，社会や自然との関わりを通して，自然に親しみ，生命を大切にする心を育て，基本的な生活習慣を身に付けて自立した生活を送ろうとする態度を育てる。

〈音楽〉　音楽を愛好する心情や感性を通して，美しいものや崇高なものを尊重する心を養い，共通教材により我が国の伝統や文化，美しさなどにふれ，道徳性の基礎を養う。

〈図工〉　つくりだす喜びの味わいを通して，美しいものや崇高なものを尊重する心を育て，道徳性の基礎を養う。

〈家庭〉　日常生活に必要な知識や技能の学習を通して，生活習慣の大切さを理解し，家庭を敬愛し，楽しい家庭をつくり，家族の役に立とうとする態度を育てる。

〈体育〉　集団でのゲームなどの運動を通して，粘り強くやりとげ，きまりを守り，仲間と協力する態度を育て，健康・安全の理解により生活習慣を大切にしようとする態度を育てる。

〈外国語〉　外国語の背景にある文化を理解することを通して，世界の中の日本人としての自覚を育て，国際的な視野に立って，世界の平和と幸福に貢献しようとする態度を育てる。

【特別の教科道徳の時間】

「考える道徳，議論する道徳」

〈重点化に対応した指導内容〉

善悪の判断　自律　A-1
規則の尊重　C-1
生命尊重　D-1
努力と強い意志　A-5

〈指導方針〉

○　よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため，道徳的諸価値の理解を基に，自己を見つめ，多面的・多角的に考え，自己の生き方についての考えを深める活動を通して，道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度を育てる。

○　全教育活動で行う道徳教育の要としての役割を果たすように，年間指導計画に基づいて計画的，発展的に指導する。

〈指導の工夫〉

① 学級児童の道徳的実態に合った資料の選定
② 物事を多面的・多角的に考えられる教材の工夫
③ 道徳的価値追求をスムーズにする導入の工夫
④ 多様な価値観を表出できる主発問の厳選
⑤ 主発問へ効果的につなぐ補助発問の設定
⑥ 考え，議論する学習形態の設定
⑦ 多様な考え方に触れるための練り合い場面工夫
⑧ 自己を見つめるための学習の整理
⑨ 自己の体験と結びつけた道徳的価値の再構築
⑩ 自己理解を深めるための書く時間の確保
⑪ 道徳的実践意欲を高めるための終末の工夫
⑫ 道徳性を高めるための教室環境づくり
⑬ 児童の発達の段階や特性等を考慮した情報モラルに関する授業の設定
⑭ 言葉を生かし考えを深める工夫
⑮ 適切な評価のための工夫
（ポートフォリオ評価の蓄積）

【領域】

〈外国語活動〉

外国語による言語や文化について体験的に理解することを通して，日本人としての自覚をもって外国の人々への寛容や親善に努めようとする態度を育てる。

〈総合的な学習の時間〉

現代的な諸課題についての横断的・総合的な学習を通して，現代社会の課題に関心をもち，自己の生き方を考えようとする態度を育てる。

〈特別活動〉

学級活動　学級や学校の生活上の問題解決についての自発的，自治的な活動を通して望ましい人間関係を形成し，よりよい生活づくりに参画する態度を育てる。

児童会活動　異年齢集団による自発的，自治的な活動を通して，異年齢による望ましい人間関係を形成し，よりよい学校生活づくりに参画する態度を育てる。

クラブ活動　共通の趣味・関心を追求する活動を通して，望ましい人間関係の形成，個性の伸長，よりよいクラブ活動づくりに参画する態度を育てる。

学校行事　学校生活の充実に資する活動及び自然体験活動やボランティア活動等を通して，望ましい人間関係，自律的態度，協力，責任，公徳心，勤労，社会奉仕などにかかわる道徳性を養う。

【環境整備】

〇豊かな心を育む環境　〇言語環境の充実・整備

〇校舎内外の美化　〇教師と児童，児童相互の信頼関係

【生活指導】

〇日常の基本的な生活習慣の定着

（挨拶，言葉遣い，整理整頓，善悪の判断）

〇いじめない，いじめを許さない学校

（いじめ防止等のための対策に関する基本的な方針）

〇健康安全習慣の定着

【道徳教育の推進体制】

〇道徳教育推進具体プランの策定

〇道徳教育推進教師の位置づけ

〇カリキュラムに基づいた授業実践

〇生活アンケート

〇授業公開

〇校内支援委員会

〇道徳教育の成果としての児童のよさや成長を発信する。

（学校便り，学級通信，学級懇談会，HP等）

〇適切な評価のための工夫

道徳教育を推進するための具体プラン

体験活動の推進

中核となる体験活動

① 本山小運動会　（木戸）

② 平和集会・人権集会　（平山）

③ 縦割り班活動　（山下）

読書教育の充実

図書室の環境整備（坂本）

① 配架の工夫

② 調べ学習のための環境作り

読書教育の推進（坂本）

① 年間目標貸出冊数の達成

② 課題読書の推進

環境教育の充実と整備

現地指導・継続指導の徹底

① 基本的な生活習慣充実　（担任）

② 清掃の仕方の指導充実「もくもく掃除」

（堤・山本・担任）

③ 掲示・放送教育の充実　（山本・犬塚）

④ 整理整頓の徹底　（担任）

⑤ 学習環境整備　（校務員・事務・教頭）

家庭・地域との連携

基本的生活習慣の形成

① 教育課程の積極的な公開

【学校開放日の設定】　（教頭）

② 家庭学習の習慣化　（担任）

③ ＧＴとしての地域の人材の活用